

古来日本人は、「無常」をうけとめ、
自然に逆らうことなく祈りの心で生きてきた。

CD版 全6巻 山折哲雄 講演選集

日本人の心と祈り

専門の宗教のテーマから美空ひばり論まで、
日本と日本人について語りつくした山折先生のCD版「日本人論」集大成——。
先生の語りは、大震災を経験した日本人に大きな共感と生き方のヒントを与えてくれます。

CD1 変容する日本人の心 〈76分・2008年収録〉

ロサンゼルス五輪選手とトリノ五輪選手の試合後の言葉の比較、西洋の個人の概念と柿本人麻呂が歌に詠んだ「ひとり」という意味の比較などを通して、日本人の精神と心の変化を説く。

CD2 法然と親鸞 〈68分・2011年収録〉

法然と親鸞はうるわしい師弟関係にありながら、一方で、二人の間には激しい対立や精神的な緊張が横たわっていたのではないかと……。知恵第一の持戒の聖僧法然と非僧非俗の親鸞について語る。

CD3 日本人の自然観と宗教 〈64分・2007年収録〉

仏教が伝来し、寺院が造られるようになって、神社もさかんに造られ、ともに人々の信仰に密接に関わってきた。しかし今日、日本人の根底にある自然との共存や自然に宿る神への信仰が改めて見直されている。

CD4 熊野あるいは信仰のふる里 〈49分・2010年収録〉

守りに入った熊野の現在の姿勢に疑問を投げかけ、歴史上の人物の精神に見られる「海辺の思想」から、「海の熊野」を考える必要性を説く。

CD5 美空ひばりと日本人の悲しみ 〈40分・2010年収録〉

昭和41年、高度経済成長を突き進んでいた明るい日本で、なぜ『悲しい酒』は売れたのか？ 時代の心の動きに寄り添って歌い続けた美空ひばりを通じて、「日本人の心」を語る。

CD6 遠野物語と民俗学の巨人たち ——柳田国男、折口信夫、南方熊楠 〈70分・2009年収録〉

柳田国男、折口信夫、南方熊楠の三人が遺した民俗学の相違点を紹介しながら、「遠野物語」と民俗学の世界について語る。

山折哲雄 (やまおりてつお) 略歴

昭和6年サンフランシスコ生まれ。東北大学印度哲学科卒業。同大助教授を経て国立歴史民俗博物館教授、国際日本文化研究センター所長などを歴任。むずかしいテーマを分かりやすく、かつ独特な視点から論じて読者を飽かさないユニークな宗教学者。『悪と往生』『親鸞をよむ』『「教行信証」を読む』『親鸞の浄土』など、著書は100冊を超える。

山折哲雄講演選集 日本人の心と祈り

CD



価格 16,500円 (消費税10%込)

●CD6枚組(分売不可)+16頁解説書

●発行:アートデイズ

※本品は直接講演を収録したものです。ノイズや一部お聴き苦しい箇所がございます。あらかじめご了承ください。